

第38期(2009年3月期) 決算説明会資料



2009年5月26日
日本ラッド株式会社



Contents

1. 第38期決算説明 および第39期通期業績見通し

2. 第38期のトピックス

3. 会社説明

4. 今後の展開

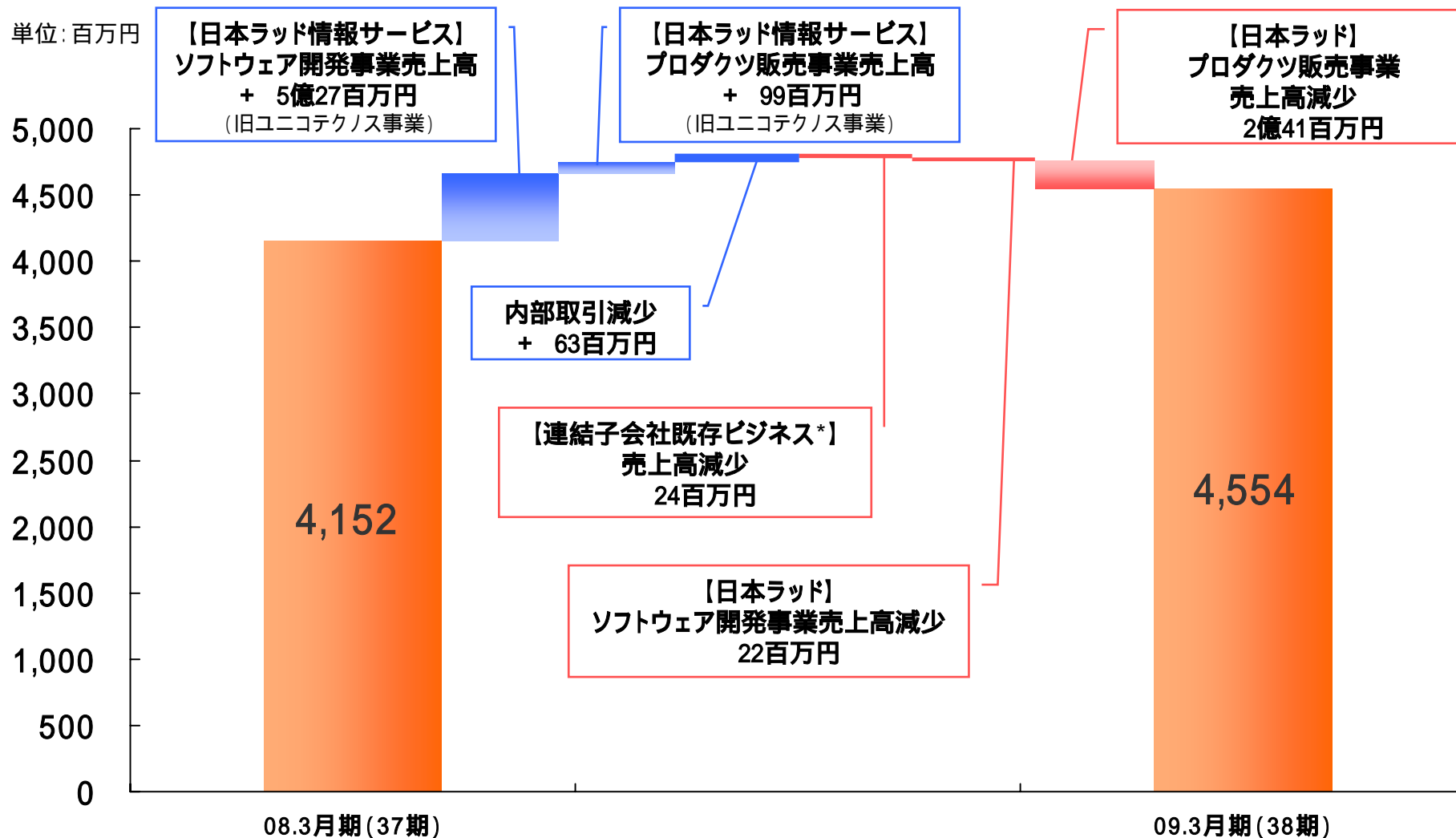
* 補足資料

1.第38期決算説明および第39期通期業績見通し 2009年3月期連結業績ハイライト

P/L (単位: 百万円)	前期実績 08.3月期 (07.4~08.3)		期初 ^(08.5.20) 開示 業績予測		当期実績 09.3月期 (08.4~09.3)		対前期		対期初開示 業績予測	
	売上高	売上高 比率	売上高	売上高 比率	売上高	売上高 比率	増減額	増減率	増減額	増減率
売上高	4,152		4,580		4,554	-	+ 402	109.7%	25	99.4%
営業 利益	104	2.5%	227	4.9%	155	3.4%	+ 50	148.7%	71	68.6%
経常 利益	94	2.3%	210	4.6%	99	2.2%	+ 5	105.7%	110	47.4%
当期 純利益	90	2.2%	115	2.5%	85	1.9%	+ 175	-	29	74.5%

1.第38期決算説明および第39期通期業績見通し

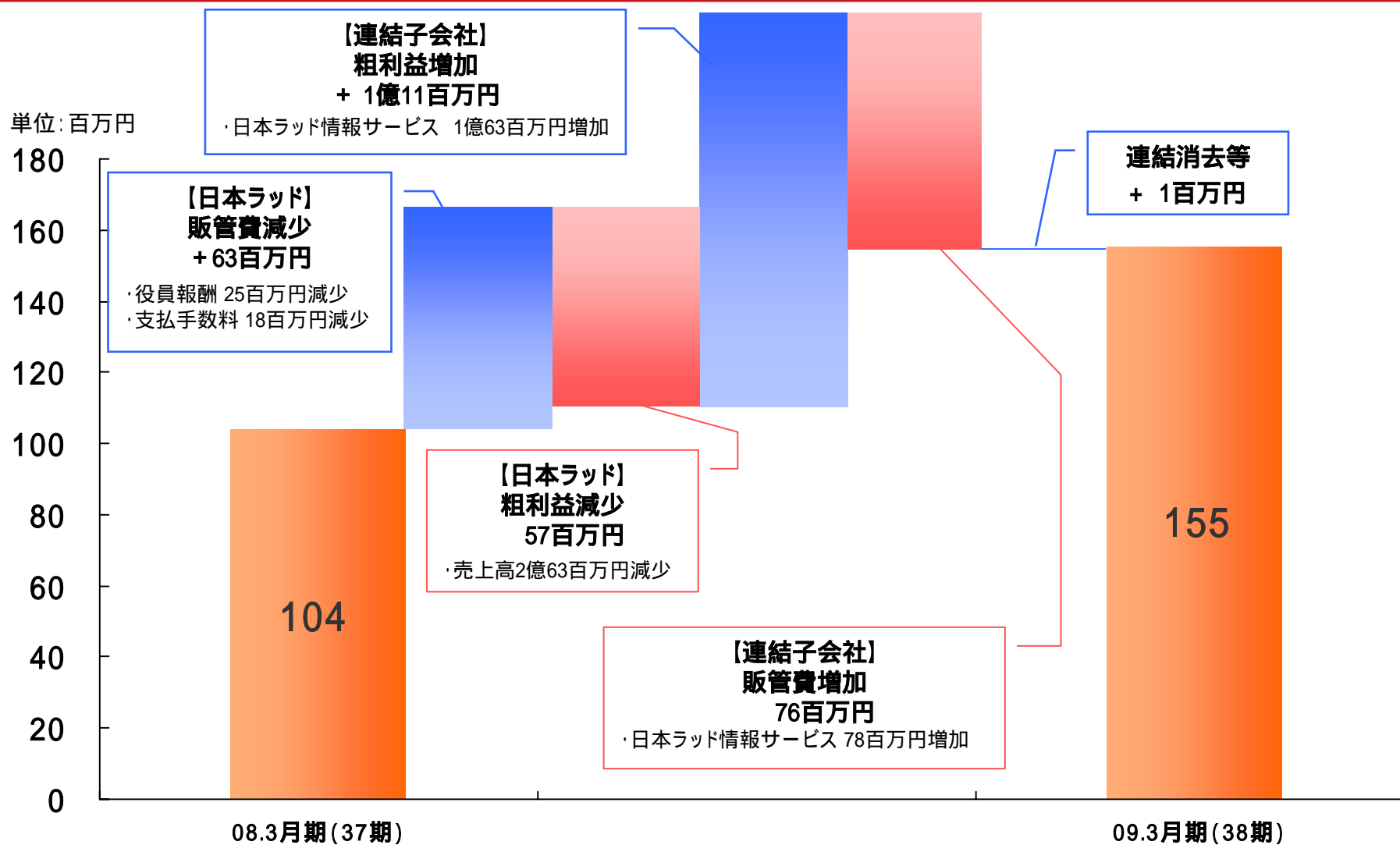
2009年3月期 連結売上高分析(対前年同期比)



* モバイルリンク株式会社、インサイトインターナショナル株式会社、日本ラッド情報サービス株式会社のIDC事業および人材派遣事業

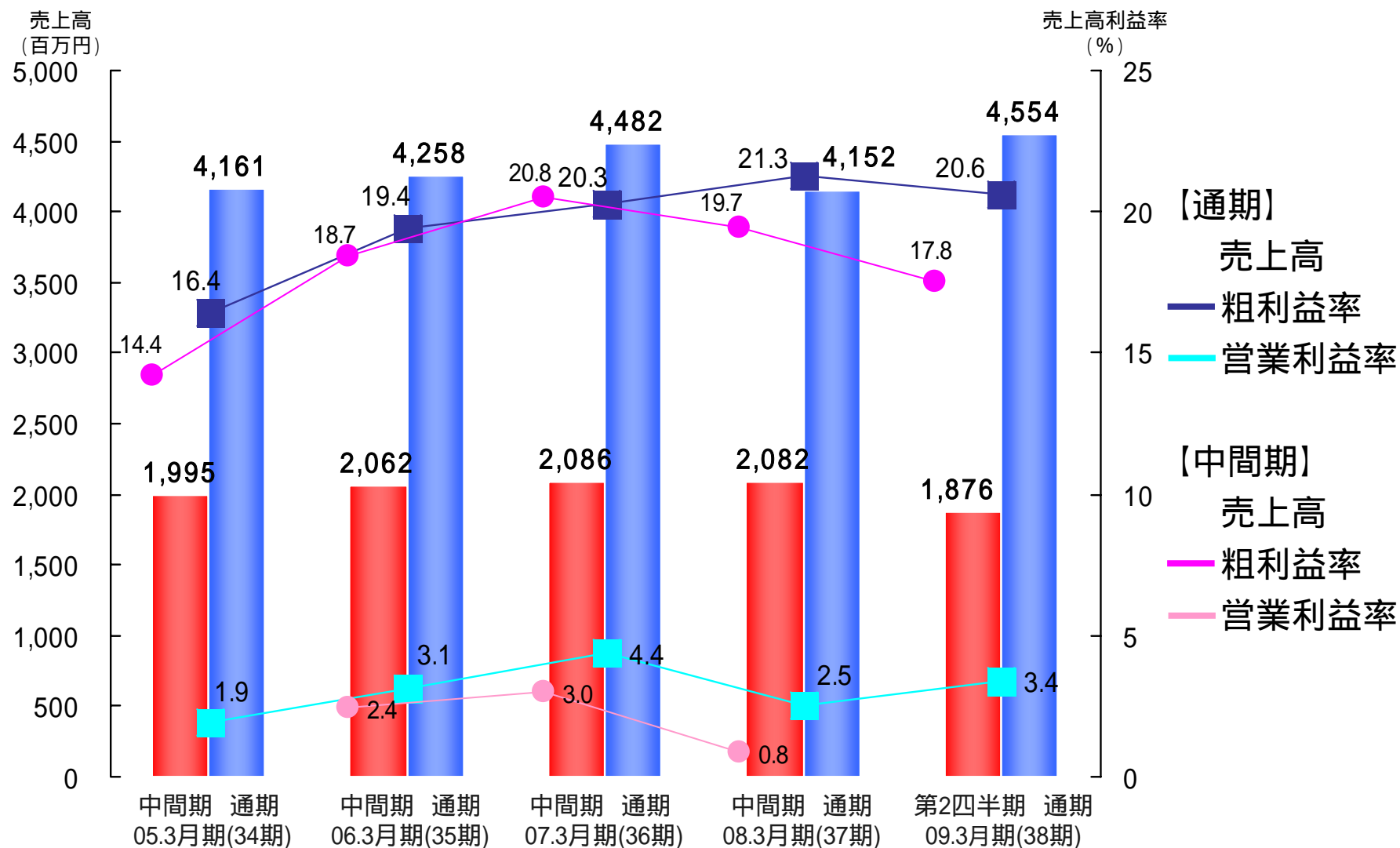
1.第38期決算説明および第39期通期業績見通し

2009年3月期 連結営業利益分析(対前年同期比)



1.第38期決算説明および第39期通期業績見通し

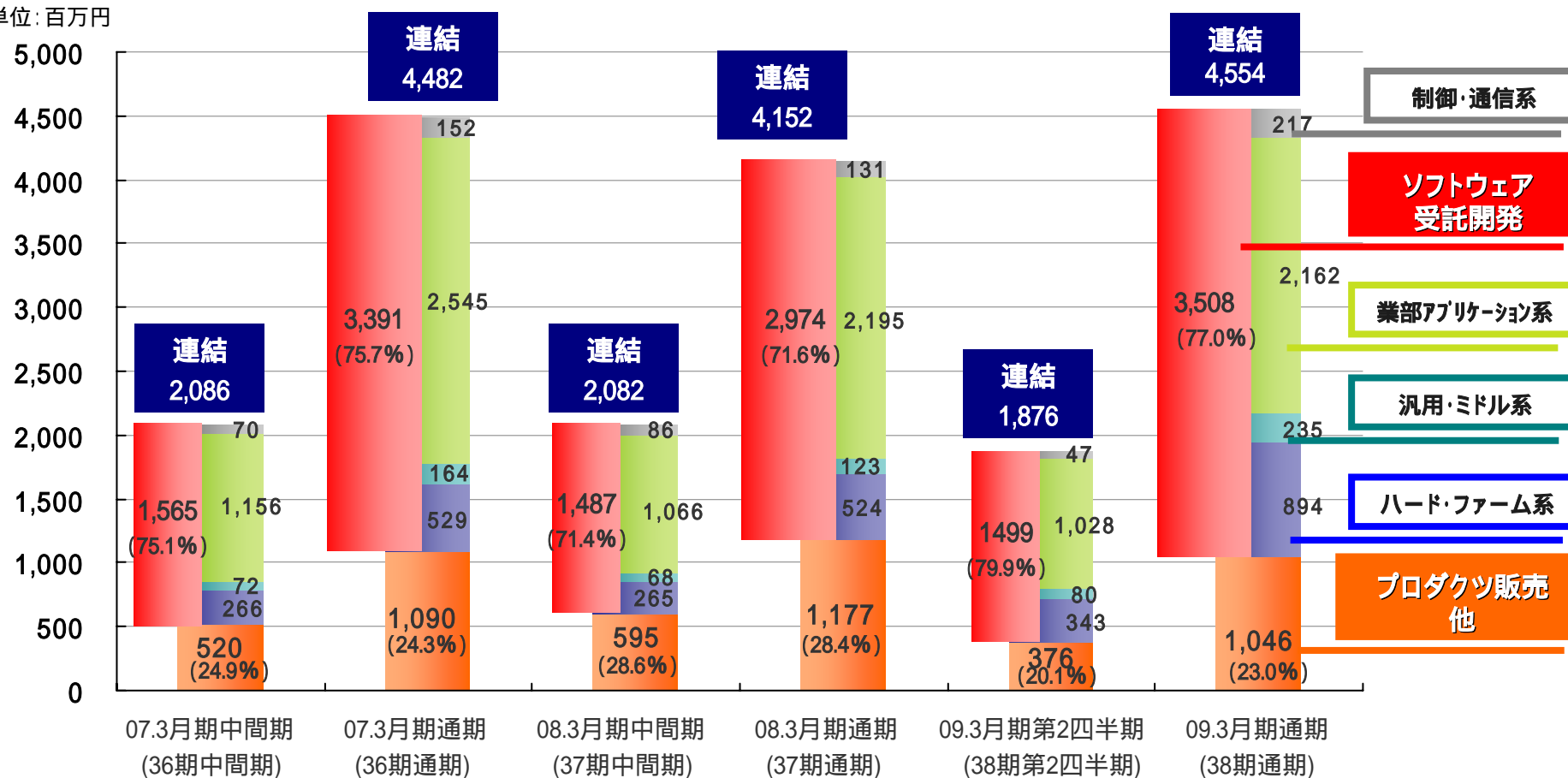
連結売上高と利益率推移



1.第38期決算説明および第39期通期業績見通し セグメント別売上高推移

事業の種類別売上高推移

単位:百万円



1.第38期決算説明および第39期通期業績見通し

2009年3月期 連結損益計算書

単位:百万円

P/L (単位:百万円)	(07.4 ~ 08.3) 08.3期実績 (売上高比率)		(08.4 ~ 09.3) 09.3期実績 (売上高比率)		対前年同期	
	増減額	売上高比率増減				
売上高	4,152	(100 %)	4,554	(100 %)	+402 ↗	
売上原価	3,269	(78.7%)	3,618	(79.4%)	+349 ↗	+0.7P ↗
販管費	778	(18.8%)	780	(17.1%)	+ 21 ↗	-1.7P ↘
営業利益	104	(2.5%)	155	(3.4%)	+ 50 ↗	+0.9P ↗
営業外損益	10	(0.2%)	56	(0.2%)	- 45 ↘	
経常利益	94	(2.3%)	99	(2.3%)	+ 5 ↗	0.0P →
特別損益	179	(4.4%)	0	(0.0%)	+179 ↗	
税金費用等	3	(0.1%)	17	(0.4%)	+ 14 ↗	
少数株主損益	1	(0.0%)	3	(0.1%)	- 4 ↘	
当期純利益	90	(2.2%)	85	(1.9%)	+175 ↗	4.1P ↗

1.第38期決算説明および第39期通期業績見通し

2009年3月期 連結貸借対照表およびキャッシュフロー-計算書

BS(単位:百万円)	08.3月期末(08.3.31)	09.3月期末(09.3.31)	増減	
流動資産	2,477	3,082	+605	流動資産 >受取手形および売掛金増加 2億44百万円増 >社債発行による現預金増加 2億32百万円増
構成比	70.4%	75.1%	+4.6P	
固定資産	1,040	1,023	-16	流動負債 >1年以内償還社債を返済 4億80百万円減
構成比	29.6%	24.9%	-4.6P	
流動負債	1,196	883	-313	固定負債 >社債発行 7億80百万円増
構成比	34.0%	21.5%	-12.5P	
固定負債	536	1,352	+815	
構成比	15.3%	33.7%	+17.7P	
純資産	1,784	1,870	+86	営業活動CF >税金等調整前当期純利益99百万円、製品販売権償却及び評価損による増加44百万円等による増加も、売上増加による売上債権増加2億27百万円等の減少要因により前年比収入減。
構成比	50.7%	45.8%	-5.2P	
資産合計	3,517	4,106	+588	
CF(単位:百万円)	08.3月期末	09.3月期末	対前年差額	
営業活動	158	123	-35	投資活動CF >ユニコ社事業譲渡関連支出1億59百万円等の増加要因により、前年比支出増。
投資活動	73	124	-50	
財務活動	347	236	+583	財務活動CF >配当金支払い19百万円等の資金減少も、社債発行による8億78百万円の増加等により、前年比収入増。

1.第38期決算説明および第39期通期業績見通し
2010年3月期 業績予想

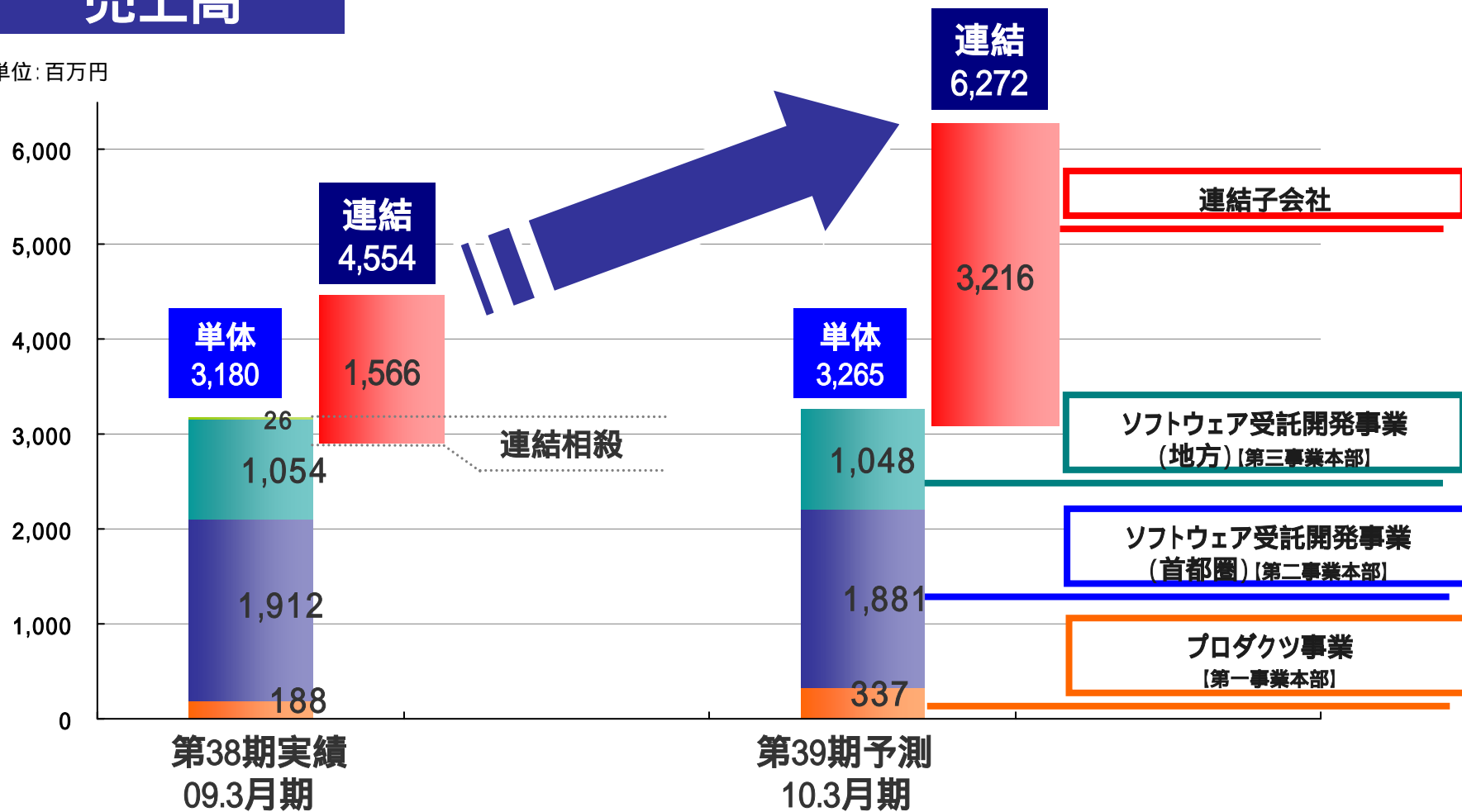
連結 (単位:百万円)	10.3月期通期業績予想		対前年実績		09.3月期 通期実績
		百分比	増減額	増減率	
売上高	6,272	-	+ 1,717	+ 37.7 %	4,554
営業利益	86	1.4%	69	44.3 %	155
経常利益	66	1.1%	33	33.4 %	99
当期純利益	16	0.3%	69	81.2 %	85

単体 (単位:百万円)	10.3月期通期業績予想		対前年実績		09.3月期 通期実績
		百分比	増減額	増減率	
売上高	3,265	-	+ 84	+ 2.7 %	3,180
営業利益	76	0.4%	+ 33	+ 80.9 %	42
経常利益	75	0.4%	+ 49	+188.0 %	26
当期純利益	20	0.2%	+9	+79.0 %	11

1.第38期決算説明および第39期通期業績見通し 2010年3月期 売上高予想(グラフ)

売上高

単位:百万円



Contents

1. 第38期決算説明
および第39期通期業績見通し

2. 第38期のトピックス

3. 会社説明

4. 今後の展開

* 補足資料

2.第38期のトピックス-1

ユニコテクノス株式会社からの主要事業譲受け

- ▶ 平成20年12月、ユニコテクノス(株)より、日本ラッド情報サービス(株)を受け皿とした事業譲渡を実施。
- ▶ 日本ラッド情報サービス(株)は、車輛配車・管理システム、医事関連システム、その他、提供するサービスの範囲が大きく拡大。
- ▶ 2009年3月度日本ラッド情報サービス(株)の売上高は12億14百万円(前年比205.3%)と前年比大幅に伸長。



日本ラッド情報サービス株式会社
Nippon RAD Information Service Inc.

株式会社シアター・テレビジョンの連結子会社化

- ▶ 平成21年2月、スカパー！の舞台専門チャンネル事業を運営する(株)シアター・テレビジョンを連結子会社化。
- ▶ 平成21年4月からは、「世界は劇場」というテーマのもと、政治・経済ニュース・教養等までその範囲を広げた独自コンテンツ制作を促進。
- ▶ ネットでの映像配信を視野に入れたコンテンツビジネスへの転換や、視聴者に向けたショッピングサイト等、新たなビジネスも同時に展開。



2.第38期のトピックス-2

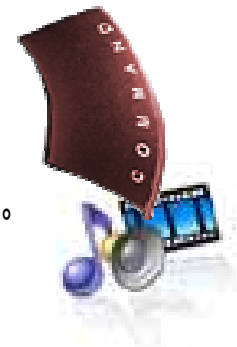
コンテンツ配信システム「グリッド・デリバリー」の取扱い開始

- ▶ 株式会社グリッド・ソリューションズが保有していた「グリッド・デリバリー」に関する特許、商標、ソースコードおよび再販権を取得。平成21年4月より、製品展開を開始。
- ▶ グリッド・デリバリーはグリッドコンピューティングの技術を応用したコンテンツ配信システム。現在、国内大手ゲーム配信企業等で採用され、従来の配信技術に比べ、大容量コンテンツを多拠点に低コストでの配信が可能。



CS放送局向けWEB動画配信物販連動システムを開発

- ▶ 中小CS放送局での利用を想定し、動画配信機能と物販(Eコマース)連動のWEBシステムを開発し、(株)シアター・テレビジョンに導入。
- ▶ 同システムによりCSで放映した番組をWEB上でも閲覧可能。また、番組関連商品の物販支援機能や決済機能により、収益源多角化にも貢献。
- ▶ 安価なレンタルサーバ上での運用による、低コスト投資・運用が可能。今後、本システムをCS放送局を中心に拡販する予定。



2.第38期のトピックス-3

在版データ管理システム「NAPA」の販売開始

- ▣ 平成21年1月より、印刷用データを确实・迅速・安全に補完する在版データ管理システム「NAPA(Network Attached Permanent Archive)」の販売を開始。
- ▣ 混在が発生しやすい状況で保管されがちな製版・印刷データを安全に保管し、必要に応じて簡単な検索が可能。



「BeSecure」の販売開始 (高速・高性能スパム/ウィルス対策アプライアンス)

- ▣ 平成21年4月より、スパム/ウィルス対策アプライアンス「BeSecure」の販売を開始。
- ▣ ソリューションスパム対策で最も重要な正規メールの誤検知は0.00001%と、ほぼゼロを達成。(スパム検知率99%以上)
- ▣ SMTP(メール)のみならず、HTTP(ウェブアクセス)やFTP(ファイル転送)にも対応するオールインワン型ソリューション。



Contents

1. 第38期決算説明
および第39期通期業績見通し

2. 第38期のトピックス

3. 会社説明

4. 今後の展開

* 補足資料

3.会社説明

日本ラッドには「プロダクツ事業」と「ソフトウェア受託開発事業」という2つの柱があります

プロダクツ事業

エンタープライズ
ソリューション

インフラ
ソリューション

EC
(Electronic Commerce)
ソリューション

自社開発ソフトウェアのパッケージ化や、海外の優れたパッケージ・ソフトローカライズによるソリューション提供。成長戦略の核として注力。

ソフトウェア受託開発事業

業務系
アプリケーション

制御系
アプリケーション

基幹大規模
システム

日本ラッドの現在の中核事業。制御・通信系、汎用・ミドル系、業務アプリケーション系、ハード・ファーム系の開発、コンピュータシステム構築に関連するあらゆる分野へ事業展開。

3.会社説明

日本ラッドはトータルITソリューションプロバイダーです

システム構築に関連するあらゆる分野に事業展開し、
「社会システム」構築を通じた「社会貢献」を目指しています。



企業の業務に貢献する
エンタープライズ・ソリューション



GIS・GPS技術と地図情報を利用した
地域密着型インフラ・ソリューション



業界でもユニークなネット配信技術による
EC・ソリューション

海外ソフトウェアの
日本語版開発・販売

ソフトウェア

自社プロダクツの
研究開発

制御系システム

ハードウェア ファームウェア

基幹システムに特化した
大規模システム

組み合わせによるトータルソリューション

WEB系
システム

通信 ネットワーク

クライアント
サーバシステム

業務アプリケーション
システム

ヒューマン ウェア



戦略的システム構築
(オンラインショッピングサイト)



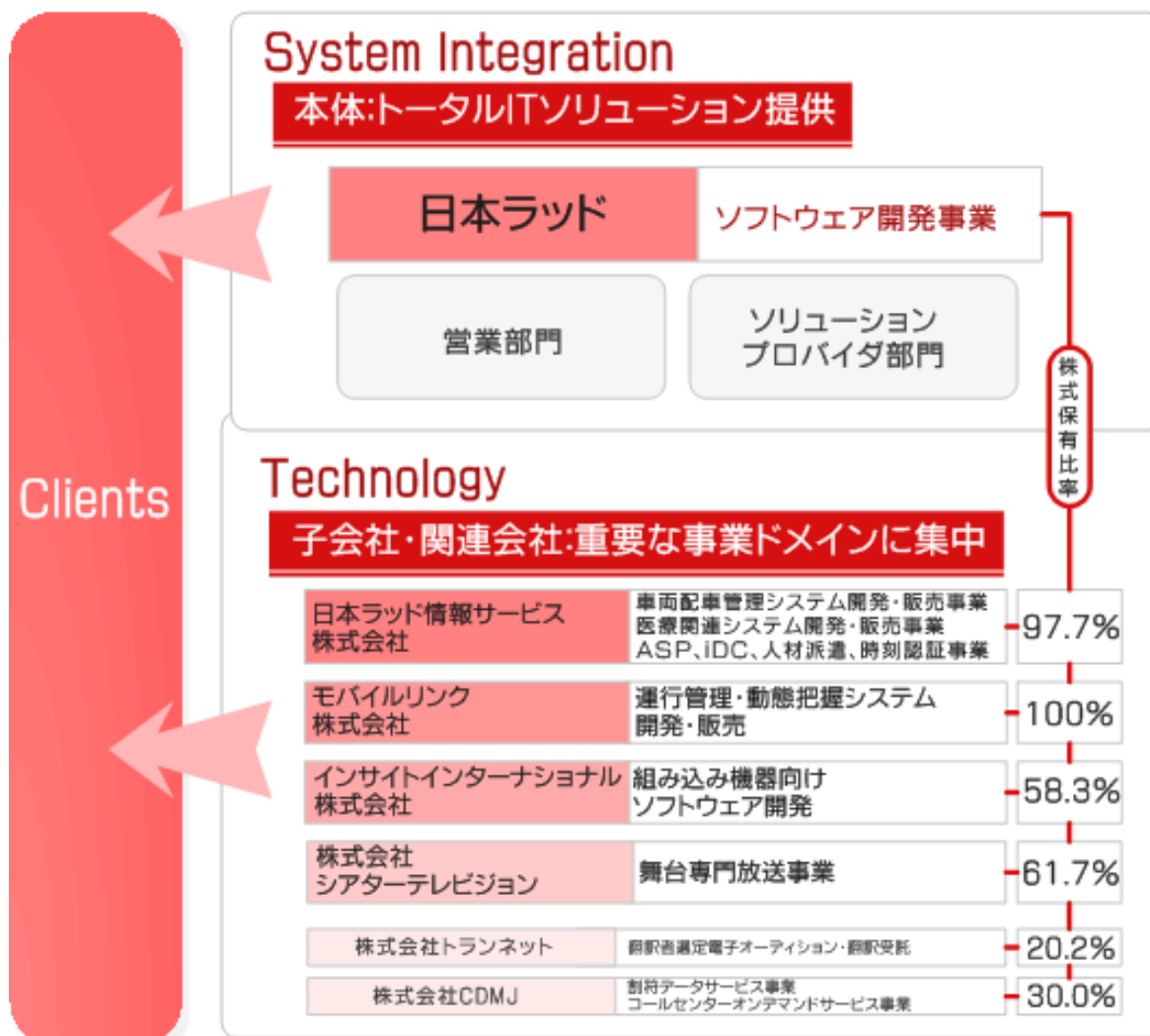
経費削減・効率改善のシステム構築
(ホテル向け自動精算機)



組込系の制御系システム構築
(OA機器、工場等)

3.会社説明

日本ラッドグループは、トータルITソリューションプロバイダーの日本ラッドと重要な要素技術に集中する子会社・関連会社で構成されます



09.3月期実績 [単位:百万円]

連結売上高	4,554
連結営業利益	155

親会社	日本ラッド(株)	
	売上高	3,180
	営業利益	42

連結子会社	日本ラッド情報サービス(株)	
	売上高	1,214
	営業利益	118

連結子会社	モバイルリンク(株)	
	売上高	229
	営業利益	2

連結子会社	インサイトインターナショナル(株)	
	売上高	122
	営業利益	20

Contents

1. 第38期決算説明
および第39期通期業績見通し
 2. 第38期のトピックス
 3. 会社説明
 4. 今後の展開
- * 補足資料

4.今後の展開

ICT市場動向(足元の環境)

ICT(*)市場は氷河期を迎える

2008年10月以降、ICT市場全体の動向は急激に悪化。
2010年3月期の受託ソフトウェア市場は、前年比-4.9%落ち込むと予測。
世界経済の低迷が深刻化した場合、-20%まで縮小し得る。

大手元請が大胆な外注費抑制を実施

大手元請は利益維持のため、外注単価10%~20%削減という
大胆な外注費抑制を実施。

中堅以下の下請は長期的な受注減構造

(*) ICT: Information and Communication Technology(情報通信技術)

出展:大和総研「2009.3ソフト・情報サービスセクタの動向」

4.今後の展開

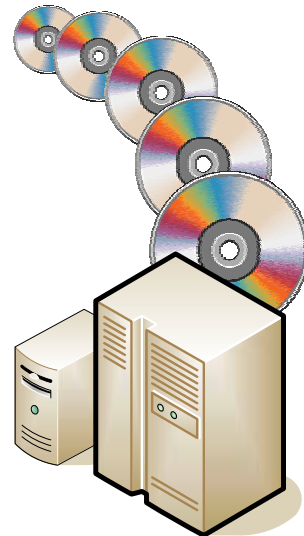
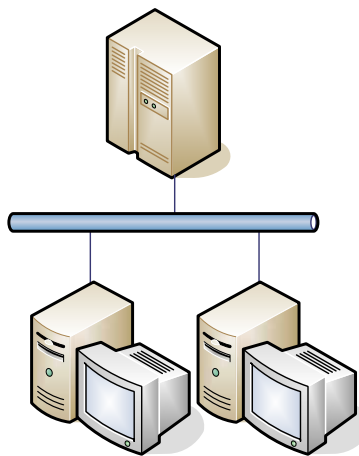
ICT市場の動向(中長期的展望)

クラウドコンピューティング(*)の時代へ~ICTの世界は大きく変貌

1964 ~ 2003
メインフレーム時代

2004 ~
オープン時代

2009年 ~
クラウド・コンピューティング時代



(*)クラウド・コンピューティング
多数のコンピュータが有機的に結びつき、
一体のコンピュータとして働く仕組み。

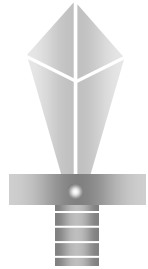
コンピュータメーカーやSI事業者は、大幅な業態転換が要求される。

4.今後の展開

日本ラッドの基本戦略

1. プロダクト事業:

ソフトウェアプロダクトを核としたソリューション提供にフォーカス



製品販売 ソリューション企画・販売への転換
ソリューション提供を切り口とした売上重視の攻撃的営業
他事業本部(ソフトウェア受託開発)への波及効果

2. ソフトウェア受託開発事業:

悪化する経営環境の中で現状維持に注力

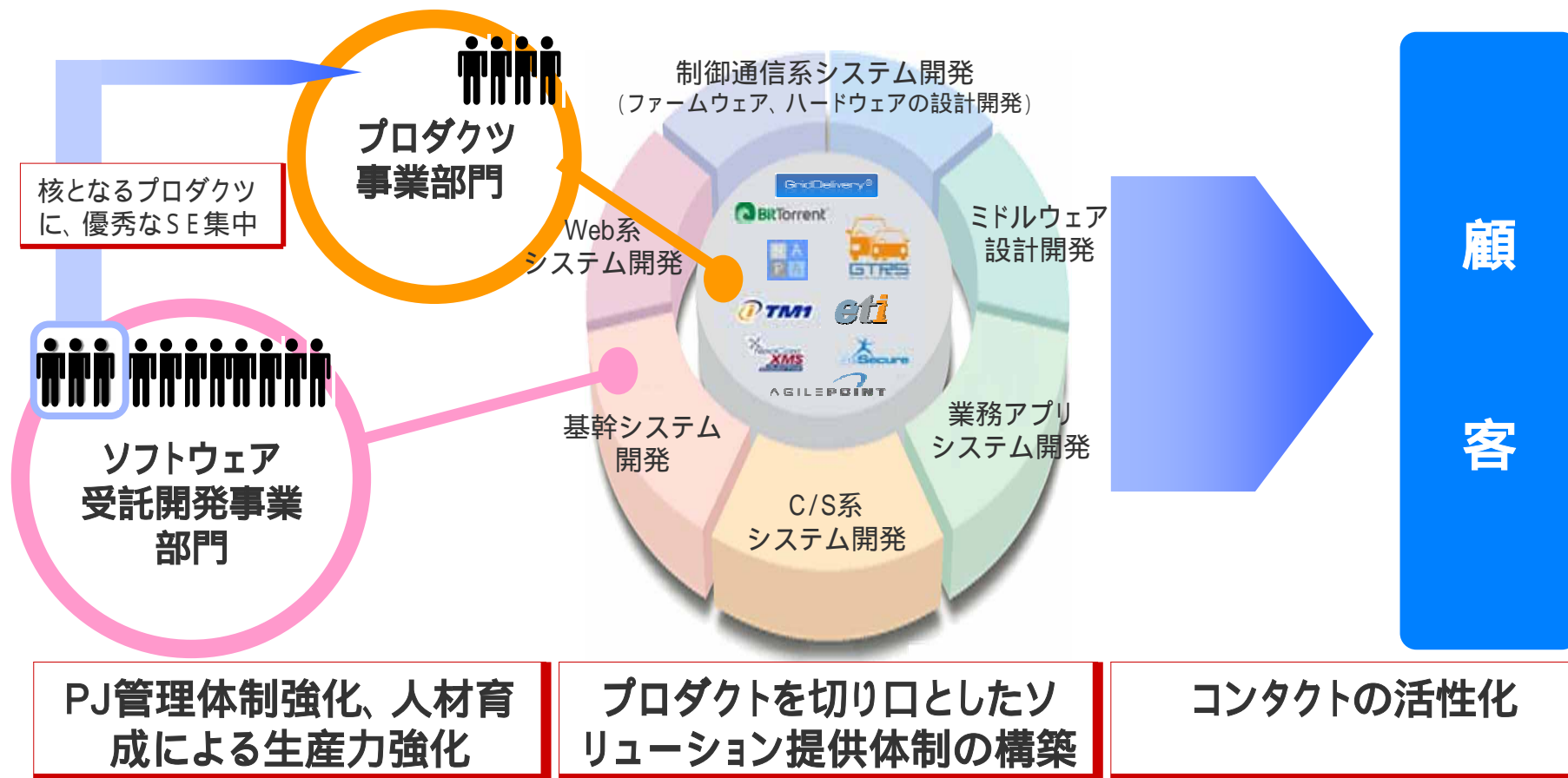


既存顧客の維持・拡大の推進(定期的PRJフォロー)
営業行動範囲の拡大(顧客・地域)
事業部間の壁を越えた情報共有・受注体制の構築
教育プログラムの実践

4.今後の展開

日本ラッドの基本戦略

「ソフトウェアプロダクトを切り口としたソリューション提供」による営業戦略

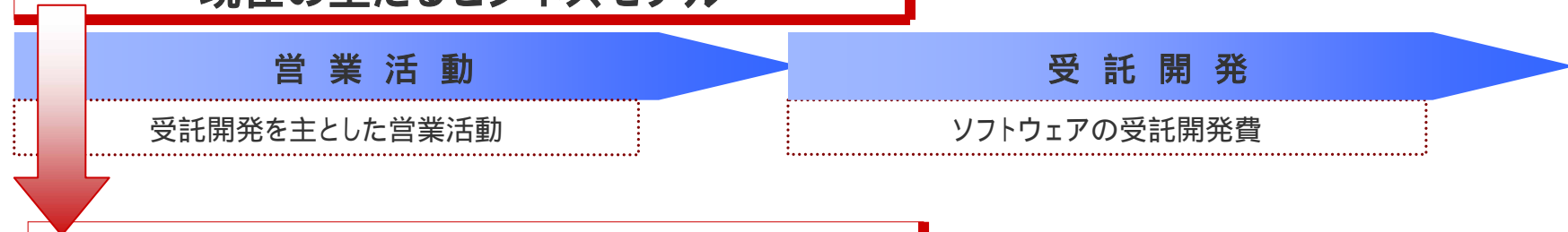


4.今後の展開

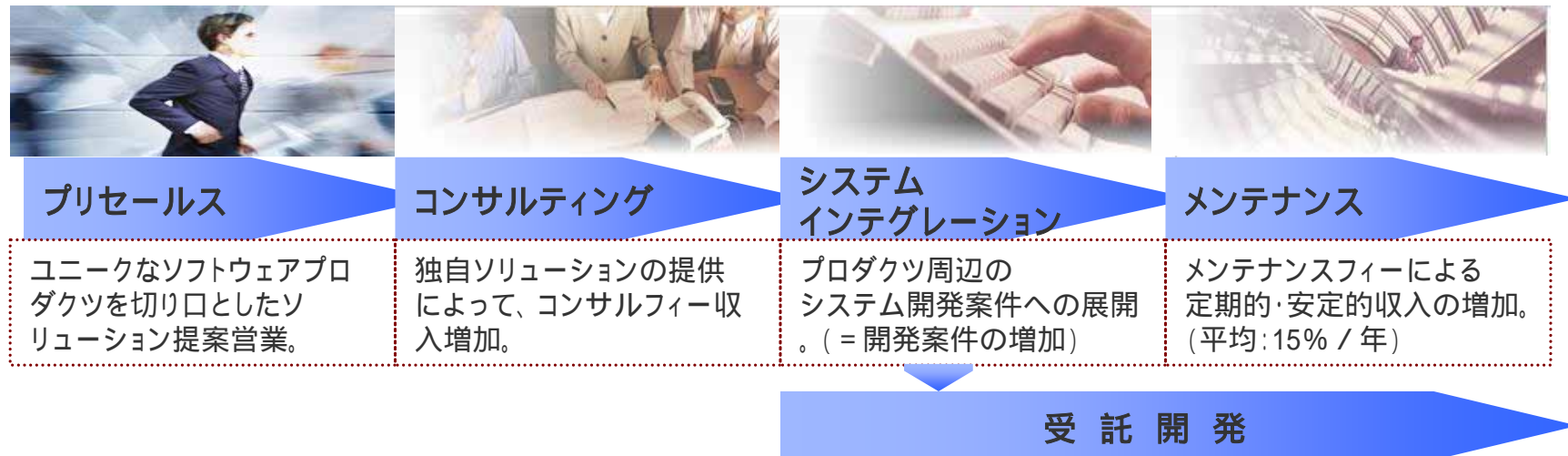
日本ラッドの基本戦略

主要ビジネスモデルの転換

現在の主たるビジネスモデル



高収益プロダクツ事業のビジネスモデルへ



日本ラッドは、業績の踊り場を抜け、 第二次成長フェーズを目指します

39期以降、再び成長ステージへ



Contents

* 補足資料

(1) 会社説明	会社概要……………	P28
	沿革……………	P29
(2) 事業説明	ソフトウェア受託開発事業(開発事例一部紹介)……………	P30
	プロダクツ事業(ソリューション一部紹介)……………	P31
	コンテンツ配信ソリューション……………	P32
	デマンド交通システム……………	P33
	TM1……………	P34
	ETI Solution……………	P35
(3) 業績推移	連結損益実績……………	P36
	連結貸借対照表とキャッシュフロー-計算書……………	P37
	売上高推移グラフ……………	P38
	エンドユーザー別売上高推移……………	P39

* 補足資料

(1) 会社説明【会社概要】

設立

1971年6月7日

上場

1999年11月9日 (JASDAQ 4736)

事業内容

システム設計・開発
パッケージソリューション開発・販売

代表者

代表取締役会長兼社長 大塚 隆一
代表取締役管理本部長 大和 喜一

決算期

3月

資本金

7億7,283万円

発行株式数

4,505,390株

従業員数

単体:295名
連結:444名(2009年3月31日現在)

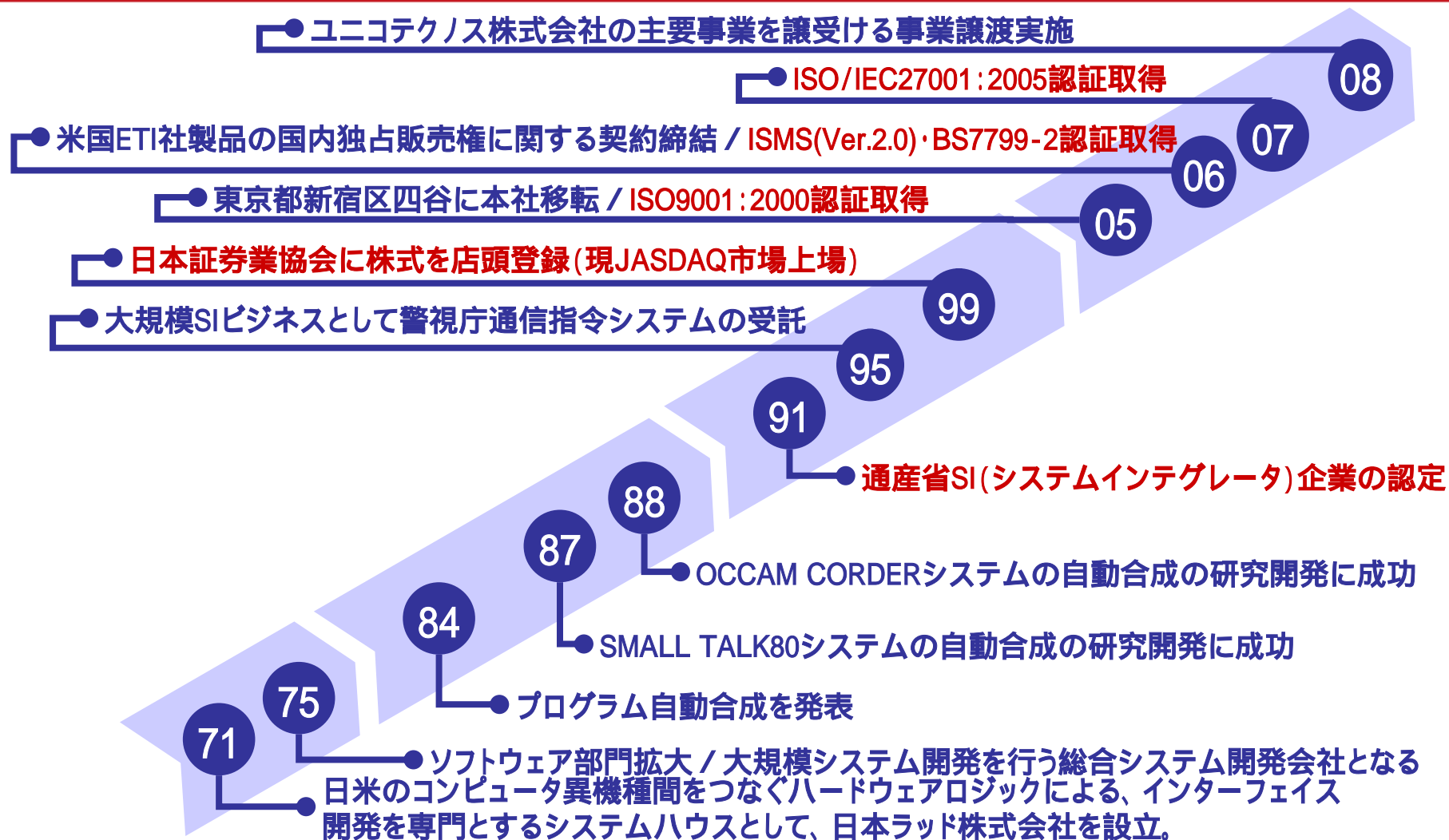
事業所一覧

本社(東京都新宿区:写真)、千葉
大阪、名古屋、浜松、金沢、松本



* 補足資料

(1) 会社説明【沿革】



* 補足資料

(2) 事業説明【ソフトウェア受託開発事業(開発事例一部紹介)】

ICTの最先端技術を駆使して、様々なお客様のご要望を実現しています

例 オンラインショッピングサイトの構築



インターネットによる受注システムの構築により、企業様の業績向上へつながる仕組みをご提供。

例 花卉ブロードバンドオークションシステムの構築



衛星放送と専用端末を使用していた既存の花卉仕入れのシステムを、インターネット環境があればどこでも競りに参加出来るシステムに構築。花卉仕入れ業者様の利便性向上を実現。

例 ホテル向け自動精算システム開発



お客様にとっては迅速・確実・便利なサービスの享受、ホテル側にとってはフロント業務の省力化と、運用側、利用側の両方のメリットを実現。多言語対応ガイドランス採用により、外国のお客様にも対応。

* 補足資料

(2) 事業説明【プロダクツ事業】

業界でもユニークな最先端技術を中心としたソリューションをご提案しています。

P2Pネット配信をコア技術とするソリューション



(コンテンツ配信ソリューション)

グリッドデリバリーシステム…… P2Pを利用した大容量ファイルのネット配信
特定業種向けECサイト構築……(例)ネットTV局のコンテンツ配信 + 課金

パッケージを利用した企業向けソリューション



TM1…… 企業の分散データ統合、分析から戦略策定
ETI-Solution …… 大量高速のELTをサポートする開発環境
AgilePoint …… ビジュアルなワークフロー定義と自動実行
NeoCore XMS …… 頻繁なスキーマ変更に強いXMLデータベース

地図情報を中心としたインフラソリューション



デマンド交通システム……赤字路線バスを代替する公共交通サービス
NAPA……印刷・出版データを迅速、確実にアーカイブ
BeSecure……超高速スパム/ウィルス対策アプライアンス

* 補足資料

(2) 事業説明 [ソリューション紹介 コンテンツ配信ソリューション]

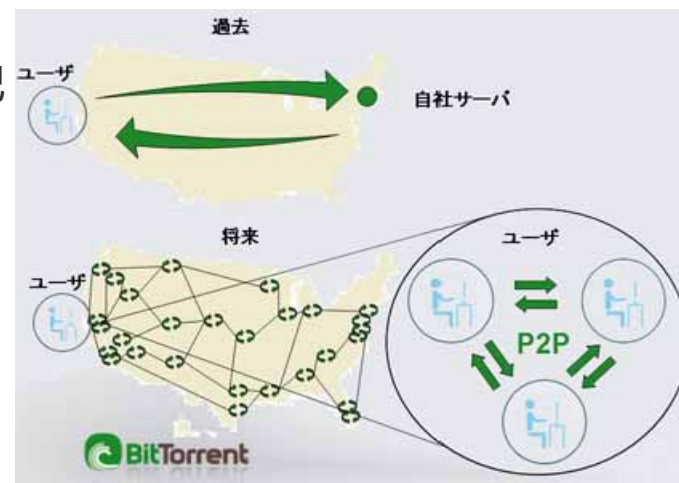


動画やオンラインゲーム等の「大容量コンテンツ配信」
大規模かつ低コストの配信ソリューションを構築します。

日本ラッドは、多大なコストがかかる「大容量コンテンツ配信」のソリューションを構築しています。

P2P (Peer-to-peer) やグリッド技術のコアとしたシステム構築により、

- ・「大規模配信システムの構築・運用から、
 - ・レンタルサーバを利用した小規模スタートのビジネスまで
- あらゆるコンテンツ配信をフルカバーで支援します。



導入事例 (CS放送局様向け、物販、動画配信連動サイト)

CS放送局様向けシステムとして、物販機能と番組動画配信機能、月額料金決済機能を統合したWEBシステム構築。

同社が自社制作した番組がWEB上でも視聴可能となるほか、同WEBサイト内で番組に関連した商品の販売も可能となり、同社の収益機会増大に貢献。

導入事例 (オンラインゲーム配信サイト)

オンラインゲーム配信は、新作発表日等の極端なアクセス集中対策が課題であった。当社は国内大手オンラインゲームサイト様向けにゲーム配信サーバを構築・運用。当システムはピーク時と平時で数十倍もの開きがあるトラフィックを吸収し、現在も安定した配信を実施。

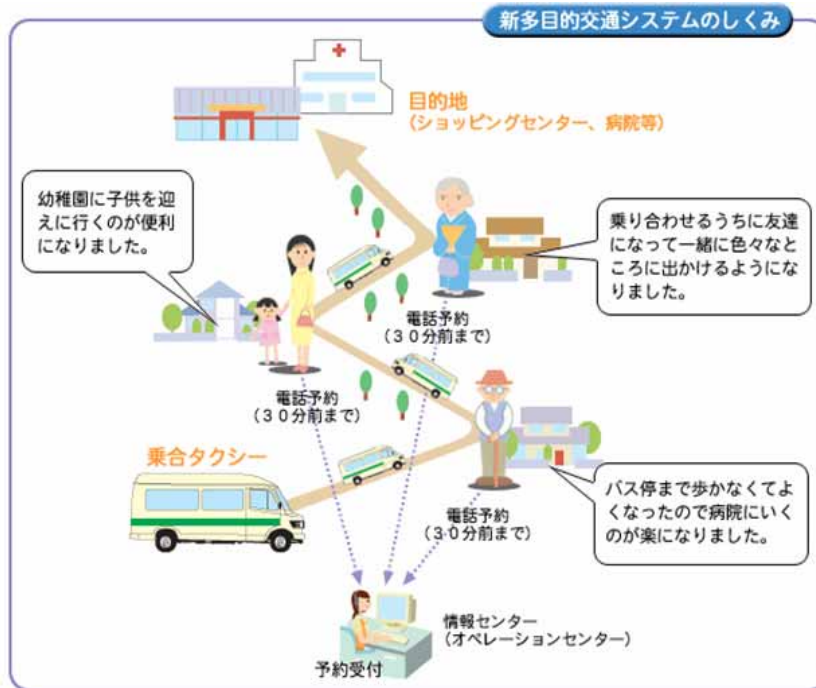
* 補足資料

(2) 事業説明 [ソリューション紹介 デマンド交通システム]



デマンド交通システムは、高い利便性、低コスト・低料金を実現した、赤字路線バスに代わる新たな公共交通サービスです。

デマンド交通システムは、地域のタクシー会社や自治体のワゴン車などを乗合で利用し、GIS・GPSの技術を利用して、予約・配車・運行を一元的に管理することによって、低コスト・低料金を実現する新交通システムです。(現在、全国40以上の市町村で導入)



導入事例 福島県小高町(現 南相馬市)

高齢者の外出機会増加
固定ルートの路線バスなどと異なり、自宅など登録した地点から目的地までタクシー感覚で利用可能。

地域の活性化

高齢者の外出等により、地元商店街等の活性化に貢献

降車1位	医療機関へ	(55.7%)
2位	商店へ	(11.3%)
乗車1位	商店から	(37.6%)

道路混雑の削減

予約・配車を一元管理。空車で走ったり、回り道をするこ
となく、また道路混雑の平準化にも貢献。

財政支出の削減

福祉バス2台の年間経費約2,500万円に対し、デマンド交通
システムの年間経費は840万円。

* 補足資料

(2) 事業説明 [ソリューション紹介 TM1]



オンライン分析エンジン「TM1」は、高速レスポンスとリアルタイム分析を実現した業界最速のBIツールです。

TM1は、BPM (ビジネス・パフォーマンス・マネジメント)に必須の戦略策定、予算編成、経営予測、データ統合、分析・レポートのソリューションをご提供し、経営分析の迅速な判断を支援するソフトウェアです。製造業の原価管理、金融業の財務分析にも広く使われており、全世界で2500社を超える国際企業への採用実績があります。

全世界での 利用実績	全世界2500社以上、「Fortune」が選ぶ米企業トップ100社の30%以上の企業が採用
最短の 所要時間	89%のユーザーが、導入6ヶ月以内に実運用開始を実現
最高の 顧客満足度	ビジネス目標達成率にて高い評価 (OLAP Survey5調査)
最速の パフォーマンス	同種製品中、最も高速なロード/演算スピード (OLAP Survey5調査)



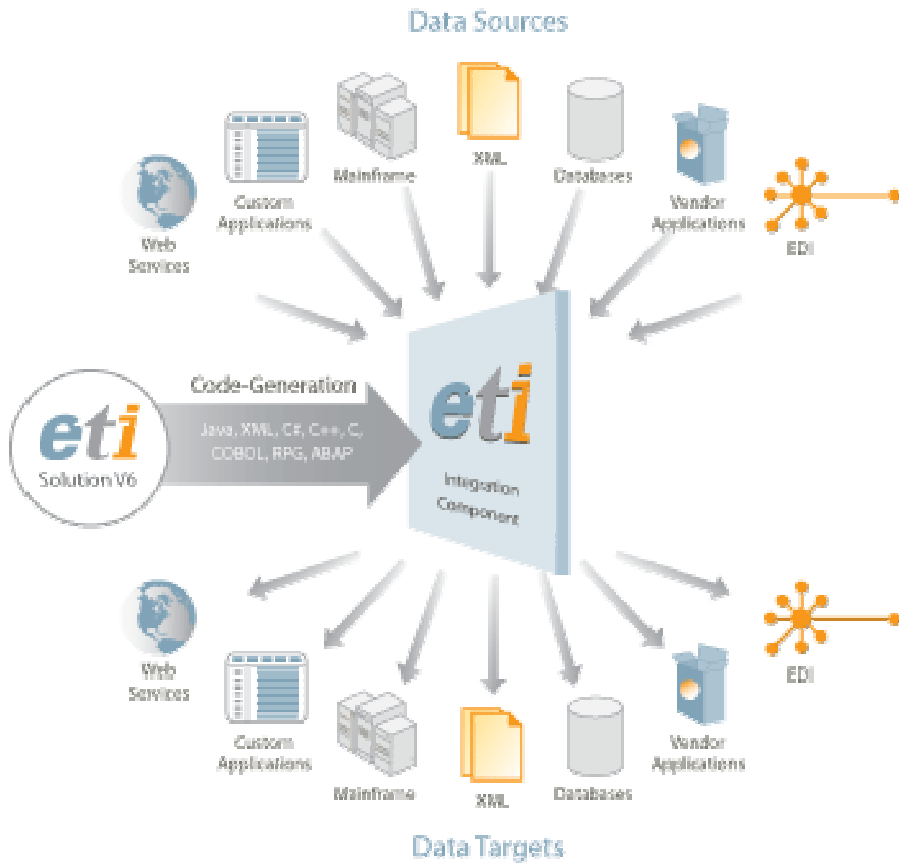
TM1ワールドワイドユーザー

* 補足資料

(2) 事業説明 [ソリューション紹介 ETI]



ETI Solutionは、革新的・画期的な、
次世代データ統合ソリューションです



高品質プログラムを自動生成する
独自のアプローチにより、メインフレーム、
オープン系、WEB系のシステムに存在
する、あらゆる情報をコントロールし、
情報の100%有効活用を実現。



情報の管理・運用
にかかるコストを
劇的に削減！！

* 補足資料

(3) 業績推移【連結損益実績】

単位:百万円 (切り捨て)	06.3月期 実績	百分比 (%)	07.3月期 実績	百分比 (%)	08.3月期 実績	百分比 (%)	09.3月期 実績	百分比 (%)
売上高	4,258	100%	4,482	100%	4,152	100%	4,554	100%
売上原価	3,430	80.6%	3,573	79.7%	3,269	78.7%	3,618	79.4%
売上総利益	828	19.4%	909	20.3%	883	21.3%	936	20.6%
販売管理費	696	16.3%	713	15.9%	779	18.8%	780	17.1%
営業利益	131	3.1%	196	4.4%	105	2.5%	155	3.4%
営業外損益	10	0.2%	35	0.8%	11	0.2%	56	1.2%
経常利益	121	2.9%	161	3.6%	94	2.3%	99	2.2%
特別損益	45	1.1%	41	0.9%	180	4.4%	0	0.0%
税金等調整前当期純利益	167	3.9%	202	4.5%	85	2.1%	99	2.2%
法人税・住民税及び事業税 法人税等調整額	15	0.3%	134	3.0%	3	0.1%	17	0.4%
当期純利益	181	4.2%	72	1.6%	90	2.2%	85	1.9%
従業員1人当たり推移 (日本ラッド単体)	05.3月期 実績	06.3月期 実績	07.3月期 実績	08.3月期 実績				
従業員1人当たり売上高(千円)	13,109	13,640	11,636	10,782				
従業員1人当たり当期純利益(千円)	517	189	-	38				
従業員数(人)	287	283	296	295				

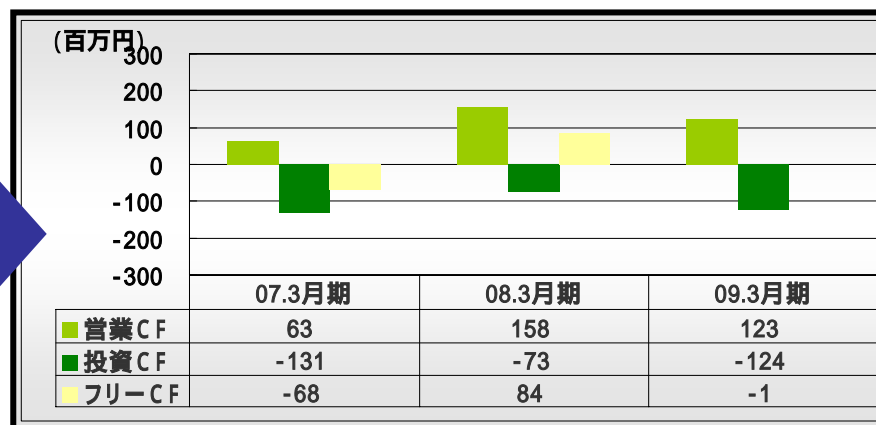
* 補足資料

(3) 業績推移【連結貸借対照表とキャッシュフロー計算書】

単位: 百万円	07.3月期	08.3月期	09.3月期
流動資産	2,946	2,477	3,082
現金及び預金	1,720	1,462	1,695
受取手形・売掛金	984	842	1,086
たな卸資産	80	84	219
繰延税金資産	47	57	44
固定資産	1,052	1,040	1,023
有形固定資産	524	512	492
無形固定資産	77	68	99
投資その他の資産	449	459	431
資産合計	3,998	3,517	4,106

単位: 百万円	07.3月期	08.3月期	09.3月期
流動負債	1,037	1,196	883
買掛金	325	209	294
短期借入金	100	80	64
一年内償還社債	300	600	120
未払法人税等	52	33	24
賞与引当金	90	126	134
固定負債	1,051	536	1,352
社債	600	-	780
純資産(資本)	1,909	1,784	1,870
負債及び純資産合計	3,998	3,517	4,106

【CF計算書】(単位: 百万円)	07.3月期	08.3月期	09.3月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	63	158	123
投資活動によるキャッシュ・フロー	131	73	124
財務活動によるキャッシュ・フロー	35	347	236
現金及び現金同等物の増減額	32	265	231
現金及び現金同等物の期首残高	1,753	1,720	1,462
現金・現金同等物の期末残高	1,720	1,462	1,695

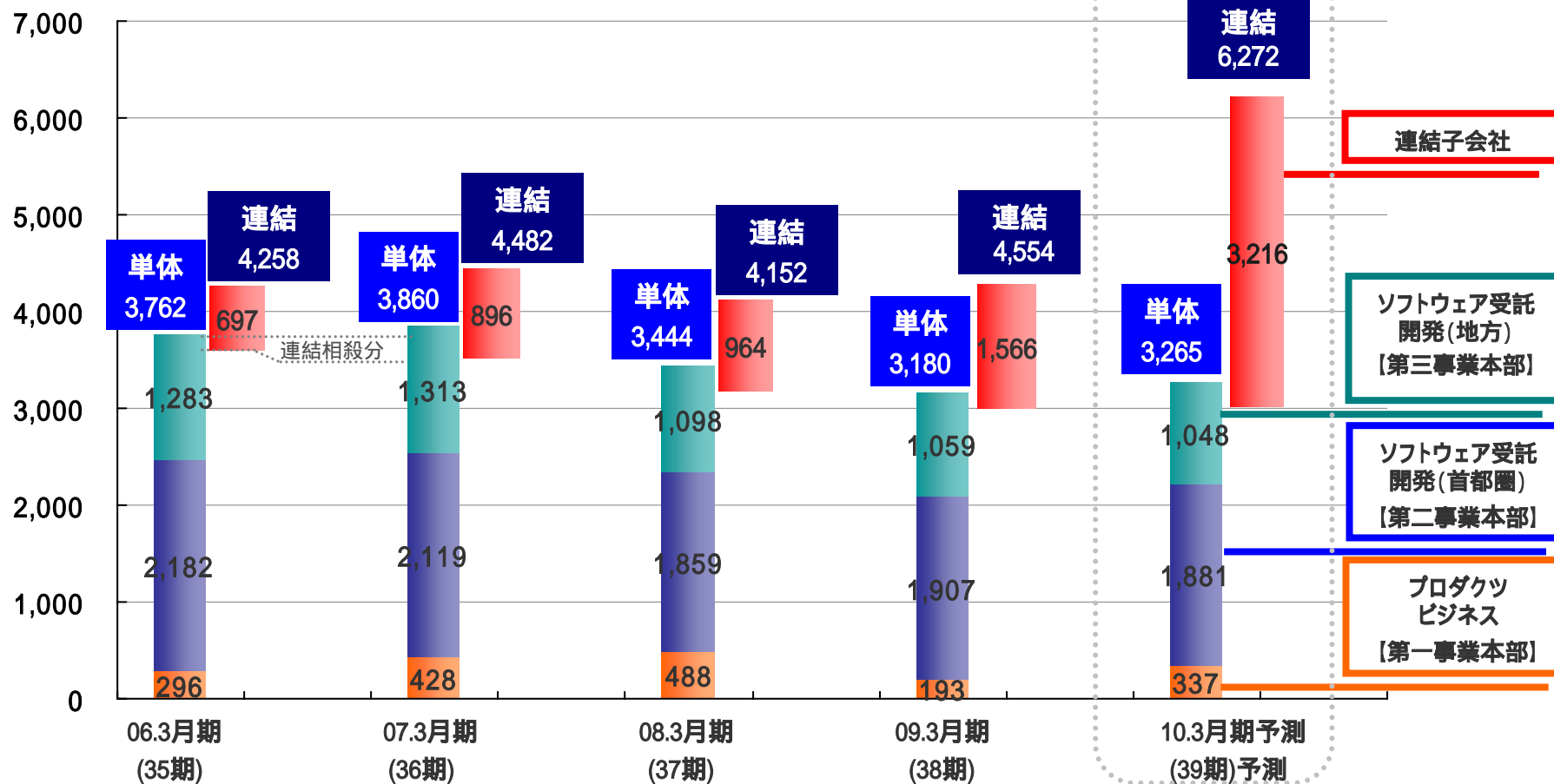


* 補足資料

(3) 業績推移【売上高推移グラフ】

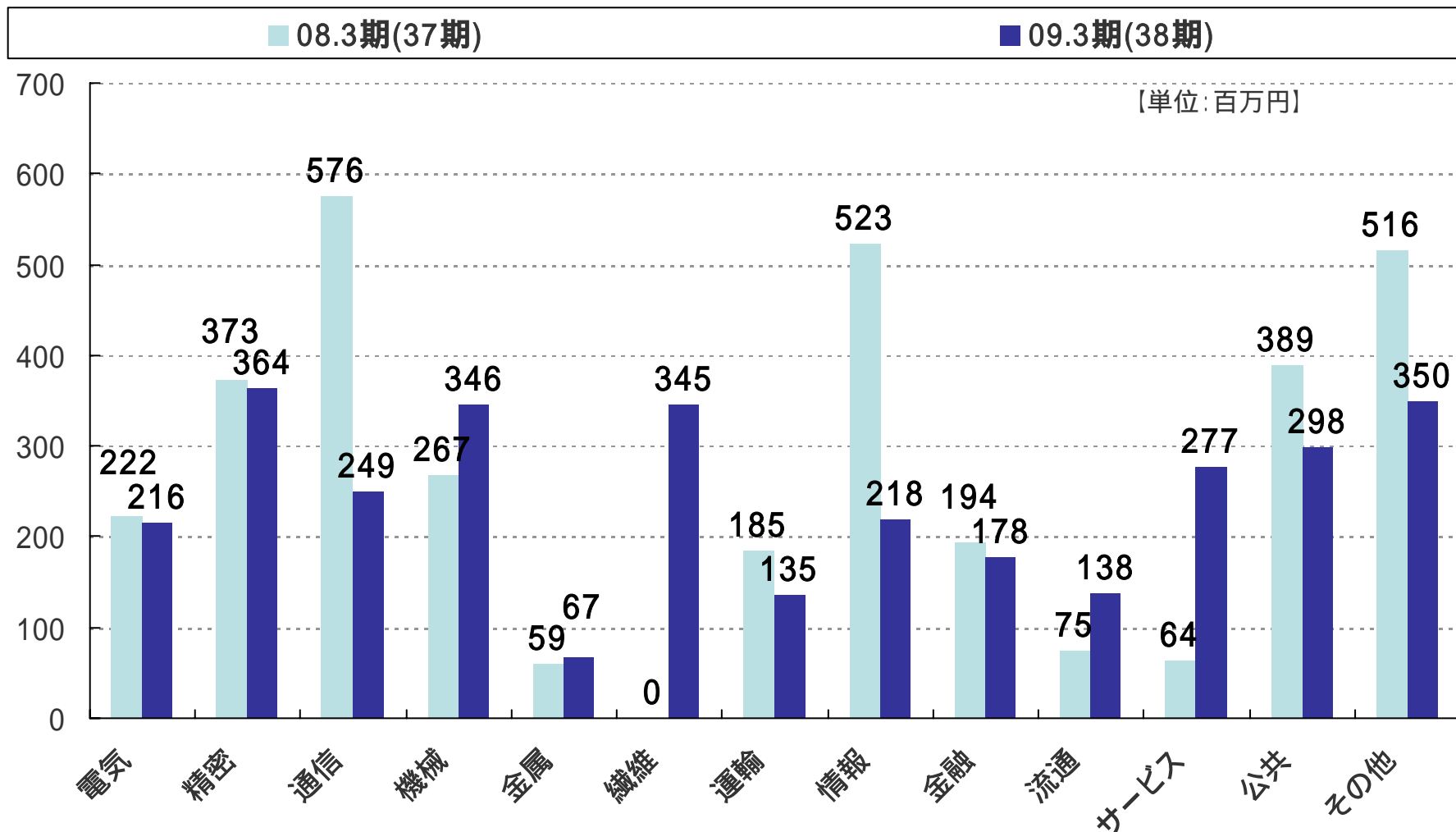
事業本部別売上推移

単位: 百万円



* 補足資料

(3) 業績推移【エンドユーザー別売上高推移】





日本ラッド株式会社
NIPPON RAD INC.



日本ラッドは大和インベスターリレーションズ株式会社が発表した「インターネットIRサイトの優秀企業」に選定されました。

本資料に関してのお問い合わせ先
経営企画室 TEL03-5919-3002

<http://www.nippon-rad.co.jp/>

本資料は、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。
本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点で入手可能な情報に基づく当社の判断であり、
その情報の正確性・完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後予告なしに変更することがあります。